



確認強迫性目覚まし時計

4 年情報工学科 プログラミング応用制作物 4CS 岡崎正樹, 雨宮永, 大堀達基, 青島一理

制作物の眼目

- ・爆弾解体作業を模倣した爆弾処理班さながらのアラーム解除機能により, 使用者を早朝に強い人物へと再教育する。
- ・たるんだ神経を矯正し, 野生の危機管理能力を呼び覚ます。
- ・時計に頼らずとも, 計画的行動を推し量る人物に変貌させる。
- ・時間と心の余裕を鍛え, 他者に優しく, 自己に厳しくあれ。

メソッド及び概要

Raspberry pi でアラーム設定プログラムを実行することで, プログラム中で設定した周波数の音が, 設定した時間に圧電スピーカーによって鳴動される。また, SSH 接続した携帯端末よりアラーム時間の登録及び解除も常時行える。

また, 当制作物の回路にはダミーの配線が張り巡らされているので, アラームを停止させるには, Raspberry pi と圧電スピーカーを繋ぐ正しいワイヤーを撤去, もしくは切断する必要がある。

アラーム音はアラーム設定プログラムで設定された周波数に従ったもので, 周波数の単音から, 周波数に直した楽曲も再生可能である。

グローバル的展開

当製作物はグローバル思考に基づき, 海外青年隊協力隊から派遣社員, 世界を渡り歩くカメラマンやジャーナリスト, PMC, 外人特殊部隊隊員の要望に応えるべく, 各国の標準時間に容易に設定することが出来る。

ディスプレイを接続した Raspberry pi のターミナルより逐次変更が可能であり, 7 セグメント LED の表示も同

構成物全体図



ダミー配線及び7セグメントLEDに注視した全体図



圧電スピーカーに注視した全体図